S+i

SAKURA innovation

NIHON UNIVERSITY
SAKURAGAOKA HIGH SCHOOL

NIHON UNIVERSITY SAKURAGAOKA HIGH SCHOOL

2024 School Guide

日本大学櫻丘高等学校

〒156-0045 東京都世田谷区桜上水3-24-22

TEL. 03-5317-9300

NIHON UNIVERSITY SAKURAGAOKA HIGH SCHOOL

2024 School Guide

S+i

SAKURA innovation

学校（School）innovation × 自分（Self）innovation

という相互作用の関係性において、学校と生徒が正面から向き合い、
影響し合いながらひとつの大きなイノベーションを起こしていく。
それは「世界（Sekai）・社会（Shakai）と私（i）」という視点を養い、
グローバル社会に適応する素養を育みます。

〝櫻イノベーション〟

これが私たちが考える今日の高等教育、あるべき高校生活のビジョンです。

SAKURA innovation

―櫻イノベーション―とは

グローバリゼーションが完成された現代社会における自己実現には
『グローバルマインド』『グローバルコミュニケーション』という素養・
能力が不可欠です。この育成を促すための、

- **セルフイノベーション** 生徒自身、教職員自身の内なる変革
- **スクールイノベーション** ハード・ソフト両面からの教育環境の変革

本校ではこれらを目指す施策のすべてを総称し《櫻イノベーション》と位置付けています。

5つのイノベーション

1. グローバル教育×ダイバーシティ
2. 体験型高大連携教育×サイエンスリテラシー
3. 教育DX×アクティブラーニング
4. クリティカルシンキング×プレゼンテーションリテラシー
5. ルーブリック評価×PDCA

Contents • 01

21世紀の教育をつくる
グローバルマインド

Global Mind / Global Communication

S+i

世界の垣根を越えた学びを

Sekai

世界の垣根を越えた学びを

ENGLISH PROGRAMS

「グローバルコミュニケーション」の礎となる多彩なプログラム

少人数制の英会話授業

ネイティブ講師が担当する英会話の授業では、少人数制の授業を展開しています。

Online Speaking Training

放課後の時間を使って、ネイティブスピーカーとのオンライン英会話を行うことができます。

SAKURA cafe

生徒会館のオープンスペースにて、ネイティブ講師との英会話を楽しみます。優しい5名のネイティブ講師が、生徒の語学力を伸ばします。

日本台湾交流協会による留学生の受け入れ

本校では毎年、台湾からの留学生を受け入れています。留学生との交流を通して異文化への理解を深め、本校生徒もグローバルな視野を広げています。

英字新聞の作成

テーマ設定～構成～作成などをすべて生徒が行うことで、英語力や企画力を伸ばします。


NISSAKU TIMES

How to turn the sea

Consciousness Matters


Contributing to school children in Africa

Problems with Suzuran-dori

The problems of toilet and sewage water

LOCAL STUDY PROGRAMS

多彩な現地学習プログラム

ニュージーランド 中期・長期留学

中期は3か月、長期は1年間の、ニュージーランドにおける単位認定型の留学制度です。多様な文化を持った人々が集まる環境で、グローバルコミュニケーション能力を高めます。



英国語学研修

夏休みを利用し、イギリスで2週間の語学研修を実施しています。様々な国から参加している学生たちとの交流やエクスカーションなど、魅力あふれる内容が盛りだくさんです。



ケンブリッジ大学 サマー・イースタープログラム

年に2回（夏・春）、日本大学が主催する語学研修プログラムです。現地のドミトリー（寮）に宿泊しながら、日本大学全付属高校の代表生徒とともに勉強します。



U.S. デュアル・ディプロマ・プログラム
～2年間の国内留学～

本校の教育課程を履修しながら、アメリカの私立中高一貫校であるProvidence Country Day School（PCDS）の授業を2年間履修することで、本校の卒業資格と現地の卒業資格（ディプロマ）を取得。





Contents • 02

日本大学教育理念「自主創造」を体現するPDCAサイクル

SAKURA Rubric

Self

なりたい自分、目指す自分。

なりたい自分、
目指す自分。

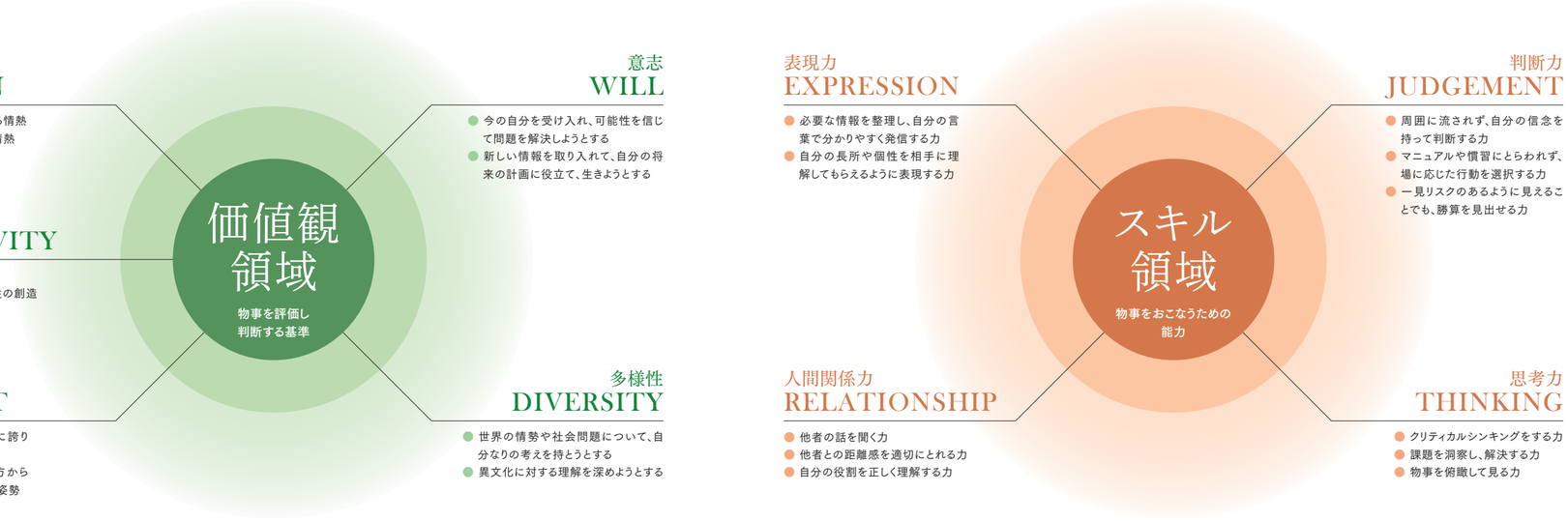
《ルーブリック評価》

評価の観点を深度・段階順に客観的な文章で設定、これらをマトリクス状に図表化し、到達度を図る評価方法

SAKURA Rubric

日本大学櫻丘高校独自のルーブリック評価

正解のない課題に対したとき、主体性を持ち答えを導き出そうとする
「価値観」「スキル」という要素が、今日の社会では重要視されています。
一般的な学力（知識）と異なり、
これまで基準が曖昧であったこうした力についても、
到達度を定め「可視化・マトリクス化」することで、指標を明確にします。
これは正に「自ら学ぶ」「自ら考える」「自ら道をひらく」という
日本大学教育理念「自主創造」の考えを体現する
ＰＤＣＡサイクルです。



Contents • 03

体験型の
高大連携プログラム

Hands-on Programs

その繋がりは最大限を引き出す

Study



その繋がりは
最大限を引き出す

INTERACTIVE COOPERATION

付属校だからできる高大連携教育

日本大学の付属校である本校では、高校・大学を通じた連携教育をいち早く取り入れています。
2年次（文理学部は1年次）から、隣接する文理学部のキャンパスや法学部・経済学部で、
大学の前期・後期の指定された講座の中から受講科目を選択して、大学生と一緒に講義を受けることができます。
ここで取得した単位はそれぞれの学部へ入学後、要件を満たせば卒業単位として認定されます。

Merit 01 • 生徒の希望に応じた学部訪問

Merit 02 • 大学教授を本校に招いての多彩な講義の展開

Merit 03 • 法学部・文理学部・経済学部では、実際の講義の受講が可能

Merit 04 • 現役大学生による放課後チューター制度

Merit 05 • 文理学部諸施設の自由な利用が可能

Merit 06 • 日本大学16学部 合同進学相談会を本校にて開催

PRACTICAL LEARNING

日本大学のスケールメリットを最大限活用した実践的プログラム

サイエンスリテラシー

日本大学文理学部の協力を得ながら、3年理系クラスの生徒を対象として研究活動を行っています。日常の「なぜ」を科学的に解き明かす過程で、従来型の授業では得られない思考力・判断力・表現力や主体的・協働的に学ぶ能力を身につけることができます。また，ルーブリック評価にも繋げることで総合的な人間力を養成します。







放課後チューター制度

日本大学文理学部に所属する教員志望の現役の学生が、文理学部構内のラーニング・コモンズにて、放課後の学習効果を高めることを目的とし本校生徒へ学習サポートを行っています。授業内容のみならず、勉強方法についての相談にも乗っていただいています。





可能性を見つける
答えは決してひとつじゃない

特別進学(S)クラス
2年次より文系・理系選択

SELECTED ADVANCE CLASS

日本大学難関学部・学科(医・獣医)・
最難関私立大学への進学を目指す

- 反転学習の徹底や、各種講習会・勉強合宿の実施により学習習慣の定着をサポート
- 多彩な講演会や大学・企業訪問などの充実したキャリア教育
- 3年次、オーダーメイドカリキュラムで多様な進路に対応

特別進学(S)クラスの主な合格実績

●北海道大学	●東京都立大学	●慶應義塾大学	●上智大学
●東京理科大学	●学習院大学	●明治大学	●青山学院大学
●立教大学	●中央大学	●法政大学	●津田塾大学 など

総合進学(G)クラス
2年次より文系・理系選択

GENERALLY REFINED CLASS

日本大学16学部をフル活用し
体験型教育で確かな目標を立てる

- 社会が求める知識・スキルの習得と価値観の育成をサポート
- 学部訪問や体験授業など日本大学のスケールメリットを活用した進路指導
- 多様な付属推薦制度に対応できるカリキュラム

自分を深く知る。
向かうべき場所が見えてきた。

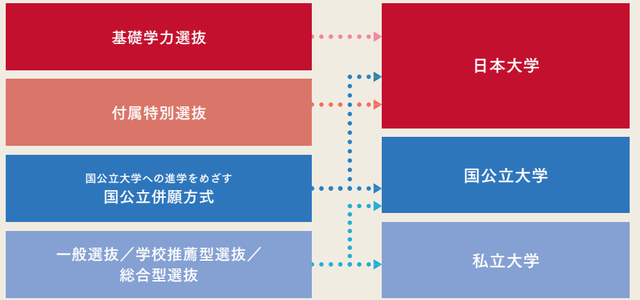
進路指導・進路実績

CAREER GUIDANCE

付属校ならではの多様性に満ちた未来予想図

1年次で学習に対して意欲的に取り組むことで自己洞察と自己理解を深め、自らの適性を考える指導を行います。
2年次には自らが決めたコースでさらに自己を磨き、将来の進路の目標を立て、その実現に向けた学習態勢を取るよう指導を行います。
そして3年次には第一志望合格の実現に向け、適切な受験方式を選択し、最後まで頑張り抜く力を育てます。

進路指導の流れ



特別進学（S）クラスでは、学校推薦型選抜や付属特別選抜への出願に一部制限があります。

他大学合格状況（現役生のみ）

北海道大学	1名	東京理科大学	1名	成蹊大学	12名	昭和薬科大学	2名
筑波大学	2名	学習院大学	9名	成城大学	2名	東京薬科大学	3名
富山大学	1名	明治大学	6名	明治学院大学	8名	明治薬科大学	2名
東京都立大学	1名	青山学院大学	6名	國學院大學	5名	杏林大学	4名
早稲田大学	1名	立教大学	7名	津田塾大学	1名	順天堂大学	4名
慶應義塾大学	2名	中央大学	17名	東京女子大学	4名	武蔵野美術大学	1名
上智大学	4名	法政大学	18名	日本女子大学	2名	防衛大学校	1名

他多数

現役進学率

97.5%

進学者数 **467**名（短期大学・専門学校を含む）

日本大学進学者数 各学部内訳

法学部	文理学部	経済学部	商学部	芸術学部	国際関係学部	危機管理学部	スポーツ科学部	理工学部	生産工学部	生物資源科学部	薬学部	短期大学部	専学部附属病院看護専門
71名	71名	59名	39名	13名	2名	11名	3名	41名	9名	40名	9名	1名	1名

Topic

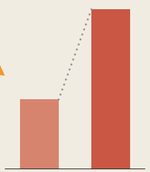
合格者の推移

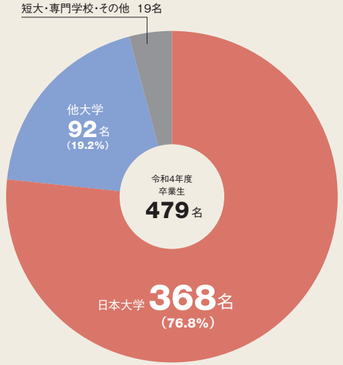
大学合格実績（令和４年度）

他大学合格者中の約34%が国公立・早慶上理・GMARCHに合格

国公立・早慶上理・GMARCHの合格者大躍進！

230%（2018年度比）





ここでしか
見ることのできない
景色がある

部活動

Club Activities

多様な部活動を展開、
それは人間形成の視点から

日本大学櫻丘高校では全30もの部活動が活動しています。
この豊富な選択肢から、生徒はそれぞれに合った部で
熱心に活動しています。
「全力で何かに取り組んだ」という貴重な経験は、高校生活だか
らこそ体感できる、大切なものであると私たちは考えています。

Club Activities






運動部 20 部

- アウトドア部
- アメリカンフットボール部
- 剣道部
- ゴルフ部
- 男子サッカー部
- 女子サッカー部
- 水泳部
- スキー部
- 卓球部
- チアリーディング部
- テニス部
- 男子バスケットボール部
- 女子バスケットボール部
- バドミントン部
- バトントワラー部
- 男子バレーボール部
- 女子バレーボール部
- 野球部
- ライフル射撃部
- 陸上競技部

文化部 10 部

- 英語部
- 演劇部
- 合唱部
- 家庭部
- 華道部
- 茶道部
- コンピュータ部
- 写真部
- 吹奏楽部
- 美術部

SCHOOL EVENTS

日本大学櫻丘高校の１年

下記は通常時の例年行事です。
行事予定は変更が生じる場合があります。詳しくは本校 HP にてご確認ください。

4月 April
- ○ 入学式
- ○ 部活動紹介
- ○ 校外教育
- ○ 基礎学力到達度テスト（全学年）

5月 May
- ○ 生徒会行事（生徒総会）
- ○ 第1回定期考査

6月 June
- ○ 英語検定
- ○ 日大チャレンジ模試（3年生）
- ○ 櫻高祭

7月 July
- ○ 第2回定期考査
- ○ ニュージーランド中期留学出発
- ○ 英国語学研修
- ○ 夏期講習
- ○ 特進クラス勉強合宿

8月 August
- ○ 部活動体験
- ○ 3年受験対策講座

9月 September
- ○ スタディーサポート
- ○ 進路説明会
- ○ 基礎学力到達テスト（3年生）
- ○ 生徒会行事（生徒会選挙）
- ○ 入試学校説明会

10月 October
- ○ 第3回定期考査
- ○ 修学旅行（2年生）※
- ○ 校外教育（1年生）
- ○ 入試学校説明会

11月 November
- ○ 体育大会
- ○ 芸術鑑賞会
- ○ 授業公開
- ○ 入試学校説明会

12月 December
- ○ 3年受験対策講座
- ○ 第4回定期考査
- ○ 特進クラス 冬期特別講習

1月 January
- ○ 3年受験対策講座
- ○ 推薦入試・帰国生入試
- ○ 英語検定
- ○ ニュージーランド長期留学出発

2月 February
- ○ 一般入試
- ○ 日大チャレンジ模試（2年生）

3月 March
- ○ 卒業式
- ○ 学年末考査
- ○ 基礎学力向上補習
- ○ 特進クラス 春期特別講習

※令和6年度より海外修学旅行を予定しています。

その日々がくれるものは
確かな成長と
かけがえのない思い出

学校行事

本校の主な学校行事は、生徒会を中心に生徒自ら企画運営をしています。
クラスで協力し達成した時の感動、今だから得られる貴重な体験や心に残る思い出は、
主体性や協調性を育み、生徒一人ひとりの成長につながります。



FACILITIES

日本大学櫻丘高校 施設一例

最新の校舎設備群は、ICT教育、語学教育、アクティブラーニングなど、
今日の高等教育に求められる様々なステージに対応しています。


CAI 教室


各階に設けられた学習スペース


自習室


ランニングバルコニー


屋内プール


生徒会ホール


体育館


理科実験室（生物室）

新たな教育を実現する、
新たな学校の「カタチ」

施設・設備

世田谷の大きな空の下、大学校地に隣接した広がりのあるキャンパス。
高大連携による恵まれた設備群は、他校では決して真似のできない
アップトゥデイトな教育環境の提供をお約束します。



NIHON UNIVERSITY
日本大学紹介

日本大学はあらゆる学問領域を持つ
16 学部 86 学科、大学院 21 研究科、
短期大学部 4 学科、
通信教育部を有する
日本最大級の総合大学です。

弘化元年（1844年）、現在の山口県萩市に生まれ、14歳で吉田松陰の松下村塾に入門しました。明治4年（1871年）に岩倉使節団の一員として欧米諸国に調査のため赴き、欧米の先進技術や文化に触れ、教育普及・法律整備が急務であると確信し、以降近代法の整備に取り組むことになります。

そして明治16年（1883年）から同24年（1891年）にわたり司法卿・司法大臣として近代国家の骨格となる明治法典の編纂にあたり、“近代法の父”と呼ばれるようになりました。

明治22年（1889年）、日本法律学校（現日本大学）の創立に関わりました。



学祖
山田 顯義

学部一覧



法学部

- 法律学科［第二部（夜間部）併設］
- 政治経済学科
- 新聞学科
- 経営法学科
- 公共政策学科



文理学部

- 哲学科
- 史学科
- 国文学科
- 中国語中国文化学科
- 英文学科
- ドイツ文学科
- 社会学科
- 社会福祉学科
- 教育学科
- 体育学科
- 心理学科
- 地理学科
- 地球科学科
- 数学科
- 情報科学科
- 物理学科
- 生命科学科
- 化学科



経済学部

- 経済学科（国際コースを含む）
- 産業経営学科
- 金融公共経済学科



生産工学部

- 機械工学科
- 電気電子工学科
- 土木工学科
- 建築工学科
- 応用分子化学科
- マネジメント工学科
- 数理情報工学科
- 環境安全工学科
- 創生デザイン学科



工学部

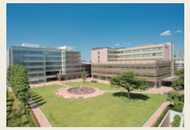
- 土木工学科
- 建築学科
- 機械工学科
- 電気電子工学科
- 生命応用化学科
- 情報工学科



医学部

- 医学科

- 医学部附属看護専門学校



商学部

- 商業学科
- 経営学科
- 会計学科



芸術学部

- 写真学科
- 映画学科
- 美術学科
- 音楽学科
- 文芸学科
- 演劇学科
- 放送学科
- デザイン学科



国際関係学部

- 国際総合政策学科
- 国際教養学科



危機管理学部

- 危機管理学科



スポーツ科学部

- 競技スポーツ学科



理工学部

- 土木工学科
- 交通システム工学科
- 建築学科
- 海洋建築工学科
- まちづくり工学科
- 機械工学科
- 精密機械工学科
- 航空宇宙工学科
- 電気工学科
- 電子工学科
- 応用情報工学科
- 物質応用化学科
- 物理学科
- 数学科



歯学部

- 歯学科

- 歯学部附属歯科技工専門学校
- 歯学部附属歯科衛生専門学校



松戸歯学部

- 歯学科



生物資源科学部

- バイオサイエンス学科
- 動物学科
- 海洋生物学科
- 森林学科
- 環境学科
- アグリサイエンス学科
- 食品開発学科
- 食品ビジネス学科
- 国際共生学科
- 獣医保健看護学科
- 獣医学科



薬学部

- 薬学科



通信教育部

- 法学部
  - 法律学科
  - 政治経済学科
- 文理学部
  - 文学専攻（国文学・英文学）
  - 哲学専攻
  - 史学専攻
- 経済学部
  - 経済学科
- 商学部
  - 商業学科

大学院

- 法学研究科
- 新聞学研究科
- 文学研究科
- 総合基礎科学研究科
- 経済学研究科
- 商学研究科
- 芸術学研究科
- 国際関係研究科
- 危機管理学研究科
- スポーツ科学研究科
- 理工学研究科
- 生産工学研究科
- 工学研究科
- 医学研究科
- 歯学研究科
- 松戸歯学研究科
- 生物資源科学研究科
- 獣医学研究科
- 薬学研究科
- 総合社会情報研究科（通信制）
- 法務研究科（ロースクール）

短期大学部

- 三島校舎
  - ビジネス教養学科
  - 食物栄養学科
- 船橋校舎
  - 建築・生活デザイン学科
  - ものづくり・サイエンス総合学科

INFORMATION
インフォメーション

制服



オプションとして、男女ポロシャツ（夏服）・
女子スラックス（夏・冬服）もご用意しております。

クローズアップ



制服がリニューアルしました

ストレッチ生地を多用しながらシルエットはよりスマートに。さらに日常のお手入れも簡単な「イージーケア」仕様にリニューアル。



Q&A

Q 学校の雰囲気はどのような感じですか？

A 明るく元気な生徒が多くいます。先生と生徒の距離が近く、様々な話や相談を気軽にすることができます。櫻高祭（文化祭）などの学校行事は生徒会中央委員を中心に生徒が主体となって運営していることも特長です。

Q 校舎や学校の設備は？

A 吹き抜けの空間に陽の光を多く取り入れた、明るく広々とした校舎に、冷暖房の整った教室は、免震構造システムを都内でいち早く取り入れ、安全面にも十分に配慮しています。

Q 生徒はどのように通学していますか？

A 本校への通学は、京王線 下高井戸駅・桜上水駅、東急世田谷線 下高井戸駅、小田急線 経堂駅の 3 路線 3 駅が利用できます。遠くは横浜や千葉、埼玉から 1 時間以上かけて通学している生徒もいます。

Q 学校見学や部活動見学は可能ですか？

A 学校見学や部活動見学は随時受け付けております。また、入試学校説明会等のイベントでも見学可能です。見学や各種入試イベントの詳細は決まり次第 HP に掲載いたしますのでご来校の前に必ずご確認ください。

奨学金

日本大学付属高等学校特待生制度（2・3年次の特待生）

1年次・2年次において成績優秀、人物優良の生徒には、選考の上、特待生としてそれぞれ次年度の授業料相当額（年額）が給付されます。

東京都の授業料軽減補助

生徒及び保護者が共に都民で、住民税等が一定基準内の場合、授業料の軽減補助が受けられます。

日本大学櫻丘高等学校奨学金制度

成績優秀者又は経済的（家計状況）理由により就学が困難な者を対象とする、後援会及び同窓会の奨学金制度があります（詳細は募集要項等により、入学後に周知します）。

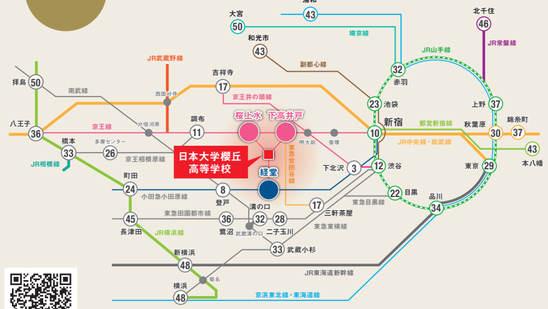
EVENTS & ACCESS
イベント　アクセス

オンラインでも学校説明会動画を公開します。各種イベント詳細については本校HPをご確認ください。

※ 本校見学の際には上履き・スリッパ、下足入れが必要です。 予めご準備の上ご来校ください。

EVENTS

路線図



※○内の数字は本校最寄駅までの所要時間（分）の目安です。
（選択した経路によって所要時間が変わります）

ACCESS

最寄駅から



※本冊子に掲載の内容は令和3年度時点のものであり、変更の可能性がございます。

本校の教育

日本大学教育理念

自主創造

自主創造とは、知的好奇心をもって自らが課題に取り組み、
自ら考え、自ら学び、自ら新しい道を切り開いていく精神を意味します。

本校が目指す精神

不易流行・進取の気概

価値のある伝統を継承しつつ、さらなる「進化」を目指します。

本校独自の取り組み

櫻イノベーション ～21 世紀型教育へ～

櫻イノベーションがもたらすもの、それはグローバル社会を生き抜く力です。
本校は、21 世紀の急速な社会の変化に対して
積極的に対応できる人材を育む取り組みを実践していきます。

具体的教育目標

基礎学力の向上

大学進学に対応できるよう学習の充実をはかる

自主性の確立

自分で考え判断し実践する能力と生活態度を養う

連帯と協調性の育成

集団の中における個人の存在を認識し、人間関係の在り方を習得する

基本的生活習慣の形成

規律と責任の重要性を自覚し礼儀正しく節度ある生活習慣を身に付ける

S+i
SAKURA innovation